

日本の伝統的な子育て事情を！
お伝えすることで
現代の子育てを応援します

KUMON

×

Happy-Note For マタニティ



江戸時代の最新メディア

浮世絵で学ぶ お江戸子育て

胎教

1986年から子ども文化の研究のために、
子どもに関連する浮世絵や文化史料の収集と
研究を続けている公文教育研究会。
広報部の吉澤明さんに、浮世絵から読み取れる
江戸時代の子育て事情を教えてください。

江戸時代にも行われていた 「胎教」

「胎教」の基本的な考え方は母と
しての心構えをもち、生活習慣を整
えることで、胎児によりよい環境を
つくることだと言われます。

江戸時代は厳しい階級制度があ
り、「胎教」も身分や地域によつて
大きく異なっていたようです。武士
の妻の場合は、子どもの出世のため
に、中国の儒教から伝わる母親とし
ての教えが「胎教」のモラルとされ
ていました。例えば、妊娠中には芝
居や祭りを観ることも音曲を聴くこ
とも、楽しく会話をすることも禁じ
られました。母親として、生まれて
くる子どもの立身出世のために厳し
い姿勢を身に付けることも求められ
ていたようです。

胎児にも妊婦にも 優しい「胎教」

一方庶民の「胎教」は、「心配ごと
をしないように」「腹を立てないよう

に」「おぼけの絵や汚いものなども見
ないように」など、母親のストレス
を減らし、胎児を刺激しないことを
願って行われていたようです。武家
との差は歴然ですね。また、地域に
よっては理想の子どもが生まれるこ
とを願って「部屋に美人画や武者絵
を貼って、観ていなさい」とか、「胎
児が男子と思う場合は『武者伝』、
女子と思う場合は『貞婦伝』を読み
なさい」など、武士の妻には絶対に
許されないユニークな「胎教」もさ
れていたといえます。

江戸時代の「美人画」や「武者絵」、
「役者絵」には母親の精神を安定させ、
胎児にとってストレスを抑える「胎
教」の効果も期待されていたんです
ね。生まれてくる子どもの成長した
姿を重ねあわせて、元気な子どもが
生まれることを待ち望んでいた両親
も多かったのではないのでしょうか。

ミニ知識

江戸時代の浮世絵の お値段はいくらくらい？

浮世絵の大きさにもよりますが、一枚
20文くらいと言われていて、現在の貨
幣価値で400円程で買ったようです。
美人画や役者絵はアイドル雑誌の役割
を果たしていたのでしょうか。



坂田怪童丸

歌川国芳
天保頃（1830-1844）

筋骨逞しい怪童丸（金太
郎）は足を踏ん張って自
分よりも大きな鯉を捕ま
えようとしています。鯉は
滝を登って龍になるとい
われ立身出世の象徴とさ
れていました。鯉の滝の
ぼりと、勇猛な怪童丸を
組み合わせて、男子の健
康と立身出世を願った『
吉祥画』の一枚絵です。